



## 日本木材青壮年団体連合会 環境憲章

### 【理 念】

日本木材青壮年団体連合会(日本木青連)は、類まれなる環境性能を有する木質資材を扱う“木財人”として、長期的な視野に立って、更なる地球規模での環境保全に取り組み、循環型経済社会の形成を通じて、人類と森林と地球が調和する豊かな未来に貢献します。

～私たちは、木材が人類共有の財産であることから、その持続的な利活用を目指す会員を“木財人”と称しています～

### 【基本方針】

#### 1.《木材利用の地球環境貢献》

木材利用の促進を通じて、地球環境に貢献する事業を推進します。

- ①木材製品の炭素貯蔵による地球環境貢献効果を正しく理解し、高炭素ストック社会の形成を目指して、木材利用の促進に努めます。
- ②木材加工の省エネルギー性能を正しく理解し、低炭素排出社会の形成を目指して、更に環境負荷の小さい木材製品と、その生産、流通技術の開発に努めます。
- ③地球上の健全な炭素循環における森林の役割を理解し、木材の持続可能な利用によってその機能が最大限に発揮される観点から、森林による炭素吸収源の拡大に貢献します。

#### 2.《事業活動》

事業活動全般において、環境法令の遵守と一層の環境負荷の低減に努めるとともに、日本木青連会員全体の環境管理レベルの向上を図ります。

- ①有毒物質の適正管理、3Rの推進(リデュース、リユース、リサイクル)による省資源を推進します。
- ②会員への環境教育を推進し、環境保全意識の高揚を図ります。
- ③ビジネスパートナーと協働して、木育活動などの環境保全活動を推進します。
- ④合法木材の利用を推進します。

#### 3.《社会活動》

森林資源の有効な循環利用を通じて地球環境保全を推進します。

- ①木材の利用促進を通じて、循環型経済社会の形成に努めるとともに、持続可能な企業価値向上と会員の社会貢献への意識を高めます。
- ②行政機関、地域、関係団体と連携して、環境保全活動に積極的に参加、支援します。
- ③社会と協調して豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組みます。

#### 4.《情報発信》

正確な環境情報を開示するとともに、フィードバック情報を環境活動の改善に活かします。

- ①環境情報を積極的に公開し、社会との環境コミュニケーションを推進します。
- ②木材製品における温室効果ガス排出量等の「見える化」に努めます。
- ③環境行動計画を公表し、計画的かつ継続的な環境活動を推進します。

制定 2010年 6月19日

日本木材青壮年団体連合会  
平成21年度会長

久我 洋一



平成30年度

# 木青連だより

〔事業報告書〕

長野県木材青壮年団体連合会



平成30年度

# 木青連だより

## 目次

|                            |                         |    |
|----------------------------|-------------------------|----|
| ごあいさつ                      | 長野県木青連 会長 澁澤 一吉         | 1  |
| 平成30年度事業概要                 |                         | 2  |
| 平成30年度会議・事業経過報告            |                         | 4  |
| 平成30年度組織図                  |                         | 5  |
| 平成30年度出向者                  |                         | 5  |
| 一年を振り返って                   | 長野県木青連 直前会長 田中 一興       | 6  |
|                            | 長野県木青連 会長代行副会長 田中 博文    | 6  |
|                            | 長野県木青連 副会長 土倉 宣也        | 6  |
|                            | 長野県木青連 副会長 降幡 聡         | 6  |
|                            | 日本木青連 木材活用委員会 委員長 田中 俊章 | 7  |
|                            | 日本木青連 木材活用委員会 副委員長 寺西 勝 | 7  |
|                            | 日本木青連 木育推進委員会 副委員長 印出 晃 | 7  |
| 第41回長野県児童・生徒木工工作コンクール実施報告  |                         | 8  |
| 第41回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト |                         | 10 |
| 信州山の日イベント2018事業報告          |                         | 13 |
| 体験と学びの環境博事業報告              |                         | 14 |
| 長野市博物館まつり事業報告              |                         | 15 |
| 信州バザール2018事業報告             |                         | 15 |
| 会団事業報告                     | 北信木青連                   | 16 |
|                            | 東信木青連                   | 18 |
|                            | 松本材青会                   | 20 |
| 長野県木青連理事会議事録               |                         | 21 |

## 今年一年をふりかえって



長野県木材青壮年団体連合会  
平成30年度会長 澁澤 一吉

今年一年間、会員皆様方のご尽力と、多くの関係諸団体の方々のお力添えによって、木青連会長職を全うできた事と、次年度県大会迄たどり着けたことに、心より御礼申し上げます。誠に有難うございました。

木工副会長の経験のみで、事務局といった事務方も未経験。更に日本木青連出向経験もない状況でしたが、一旦引き受けた以上出来る限りの事はやろうと思ってやってまいりました。木材業界の若手団体を取りまとめて行くということに関しては、実務経験不足なこともあり戸惑った場面もありました。又、上部団体である日本木青連への出向や、北信越地区協議会への参加に関しても、今回が初めてなうえ、長野県会団長という立場で勝手が解らない部分も多々ありましたが、経験のある皆様の助力のおかげで、回数を重ねる毎に各地区出向の方々とのコミュニケーションが増え、様々な情報交換が出来、更に日本木青連主催の研修も有意義なものが多く、可能な限り参加できた事は自分の為になったと感じました。自分自身今現在、日本の木材人の一人なのだと、再認識することが出来ました。

さて木工教室と並んで、主力案件である第41回を迎えた。「長野県児童・生徒木工工作コンクール」は、本年133校の小・中・盲・ろう・養護学校から4,608名、4,619もの作品が集まりました。例年素晴らしい作品が多いのですが、今回もより優秀な作品が多く、松本合同庁舎で行われた審査会では選考に大変苦勞致しました。尚、そのおかげもありまして、日本木青連が主催します、「第43回全国児童・木工コンクール」に出品しました県知事賞を含む4作品すべてが入賞する快挙となり大変喜ばしい結果になりました。但しこの木工コンクール入賞

に関しては、我々木青連の力というよりも、各地区木協や個人での活動がなくては、広い長野県でこれだけの数の優秀な作品は賄えないと思います。この点から全県での活動への入賞ということに非常に素晴らしい意義があると思われまます。

最後に「温故知新 と共に前へ」というローガンと共に一年間活動してまいりましたが、奇しくも日本木青連のスローガンも「ONE STEP AHEAD 未来への新たな一歩を」と前に向かっていきます。木材業界の先行きを左右する住宅需要も住宅業界地図も随分様変わりしてきました。更にそれ以上に社会が大きく変化してきています。この状況を乗り越え、前に進んでゆくには会員の仲間達と力を合わせ、全国の仲間との交流を深め、更にOBの方々にご教授を受け、未だ見ぬ新しい会員を増やし、新しい感性を共有してゆくべきだと考えられます。

今後とも新しい会員を増やし、先輩方、全国の会員との交流を糧にして、長野県木材青壮年団体連合会が前へ進んで行くよう宜しく御願ひ申し上げます。

# 平成30年度事業概要

長野県木材青壮年団体連合会  
平成30年度会長 澁澤 一吉

## 会長指針

木青連の綱領に「若い英知と情熱を結集し不屈の精神をもって行動しよう」という一文があります。

木材人として未だ若い我々が集まって色々なアイデアを持ち寄り、あまたの苦難にも、熱心で折れない気持ちで臨むことが大事だと、この文に示されていると思います。そして私たちはその姿勢を守り、60年近く続けて参りました。苦難に折れない気持ちと言うのは社会人として当然の姿勢であります。しかしながら、現在の我々は多彩なアイデアを持ち寄って新しい事にチャレンジするといった事には、いささか苦慮しているのではないのでしょうか？新しい事、新事業・新形態・新企画…。長年続いてきたこの木青連で、今までにない新しい挑戦とは何なのか、模索を繰り返す前に考えを改めてみてはどうでしょうか。

皆さんは、東京のスカイツリーを建設するにあたり、参考にされた建築物が何かご存知ですか？参考にされたのは「法隆寺にある五重塔」なのだそうです。世界最古とも言われる、1300年以上も前に建てられた木造建築物である五重塔の「塔の中心部に心柱を構築し、塔内で地震の揺れを軽減する」という仕組みが「制震」という技術として634メートルもの日本で一番高い建築物に採用されているのだそうです。先人の知恵を現代の私たちが活かす、まさに「温故知新」と呼べるものでしょう。

「温故知新」とは、元々、中国の思想家「孔子」が自分の弟子たちに言った言葉で、その意味は「古くからの伝えを大切にしていって新しい知識を得て行くことが出来れば、人を教える師となることが出来る。」と言う様な意味なのだそうです。今でもその本来の意味を残しつつ、「過去から続けていた事から新しいものを見出す」といった使われ方もされる様になりました。木青連が「過去から続けていた事」から「新しいものを見出す」としたら、それはどんなものがあるのでしょうか。

## スローガン

# 「温故知新 と共に前へ」

## 基本方針

1. 木青連活動を通じて、個々の木材に関するスキルをアップさせ、更に前に進める環境を作る
2. 今まで培ってきた歴史や事業を生かし、更なる活動のアピールを行う
3. 他団体・他業種・先輩方情報の交換や、交流を深める

木青連は、戦後の混乱が冷めやらぬ時代に先輩諸兄が高い志と情熱を持って設立され、日本が戦後復興から高度経済成長を果たす一翼を担って参りました。そして、その後昭和から平成へ変わり、幾多の景気の浮き沈みにも、柔軟でしなやかに順応し存続を続けて参りました。会の継続と仲間同士の結束が力となり、景気の波を乗り越えられたのだと思います。

バブル経済崩壊後の時には、長期に渡って景気に逆風が吹き荒れ、業界各社は非常に厳しい環境下での経営を強いられましたが、その時も木材界が一丸となり行政へ木材産業の社会的価値と役割をアピールしたことで、いまでは多岐に亘るサポートを受けられる様になりました。また消費者へも、木工工作コンクールなどの木育や、木材活用コンクールなどで環境への配慮を訴え続けたことで、より多くの人が木材に関心を寄せることとなり、これからの木材の全体的な利用アップに役立っており、この点からも木材界の景気の風向きが徐々にではありますが追い風へと転じてきている好材料となっております。

これらは木青連がその長い歴史の中、継続してきた「温故」がいまに表れているものだと思います。

ならば「知新」とはどういったものがあるのでしょうか。先輩諸兄が「五重塔」ならば今の我々が「スカイツリー」となる為にどういった事を学ばよいののでしょうか？社会が地震の様に揺れ動くとき、「制震」の仕組みを今の私たちはどうやって作り上げていけばよいのでしょうか。その答えを探すことを、私はこの一年で命題として「不屈の精神」で取り組んでいきたいと思えます。

30年続いてきた「平成」から新年号に代わるこの時に、皆さんと共に「昭和」から続く木青連の“新しい時代の航海”を始めていきましょう。もし航路に迷いそうになっても心配はありません。私たちに先輩諸兄が残した「英知」というコンパスがあるのでから。

## 事業計画

【1】長野県木青連が基本方針に基づき、会員、単位会団、ブロック並びに関係諸団体と連携して行う会議

- (1) 定時総会
- (2) 理事会
- (3) 県、中部森林管理局、関係団体との懇談会

【2】長野県木青連が主催し、各単位会団、個人会員に協力を依頼して行う事業

- (1) 第59回県会員中信大会
- (2) 第41回長野県児童・生徒木工工作コンクール
- (3) PRカレンダーの斡旋
- (4) 木工教室
- (5) 会員拡大
- (6) 木青連だよりの発行
- (7) 木青連OB交流事業

【3】各単位会団、ブロックが主催し長野県木青連が協力して行う事業

- (1) 木材PR事業

【4】日本木青連が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 第63回全国会員東京大会
- (2) 第43回全国児童・生徒木工工作コンクール
- (3) 第22回日本木青連木材活用コンクール
- (4) ウッディレターの配信
- (5) 総会、理事会、委員会

【5】地区協議会が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 北信越地区会員大会
- (2) 北信越地区協議会

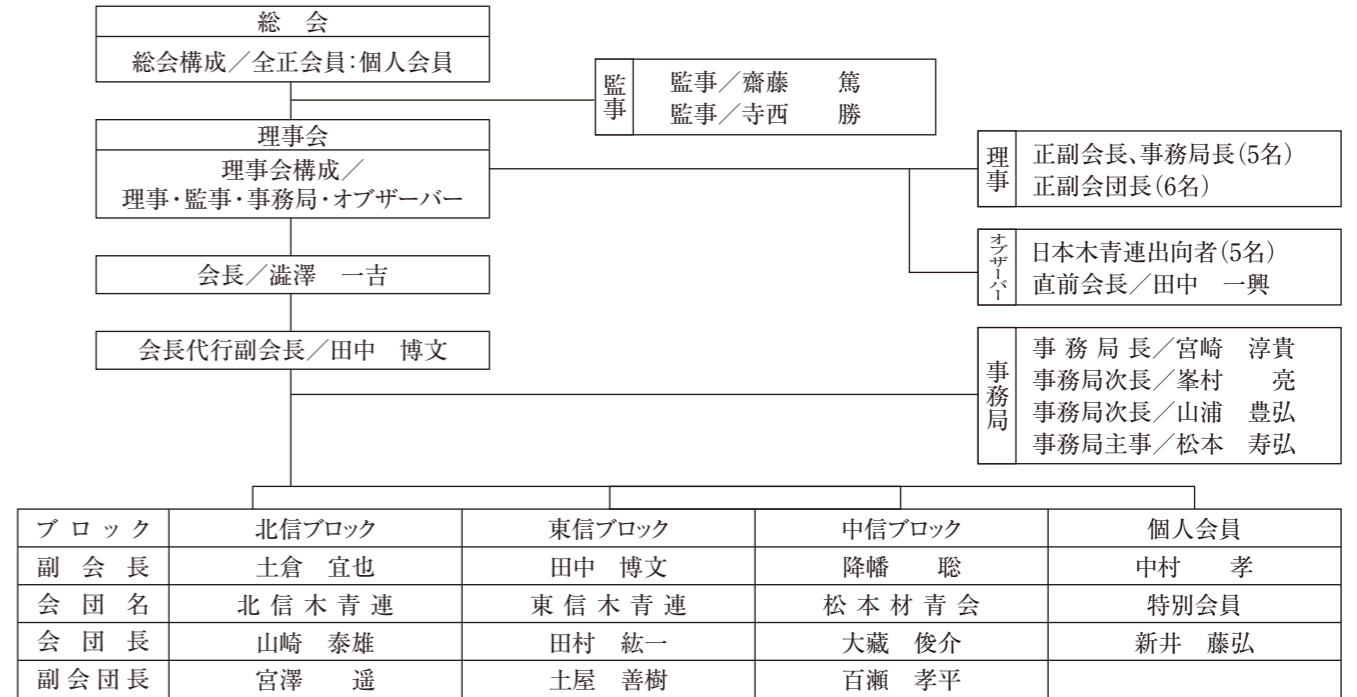
【6】関係諸団体等が主催し、長野県木青連、ブロック、単位会団が協力して行う事業

- (1) 長野県県産材振興対策協議会が主催する事業
- (2) 長野県木材協同組合連合会が主催する事業
- (3) 長野県木材産業振興基金が主催する事業
- (4) 県、中部森林管理局等が主催する事業

# 平成30年度 会議・事業経過報告

|                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 3月9日(金) 日本木青連 第1回理事予定者会議        | 東 京:江東区産業会館        |
| 3月19日(月) 正副会長・事務局引き継ぎ会議         | 長 野:林業センター         |
| 4月8日(日) 日本木青連 第1回理事会            | 東 京:江東区産業会館        |
| 4月11日(水) 松本材青会総会                | 松 本:ホテルモンターニュ      |
| 4月14日(土) 長野県 木青連理事予定者会議         | 長 野:長野木材協同組合       |
| 4月18日(水) 北信木青連総会                | 長 野:ホテルメトロポリタン長野   |
| 4月20日(金) 東信木青連総会                | 佐 久:佐久平交流センター      |
| 4月28日(土) 第59回県会員中信大会            | 松 本:ホテルプエナビスタ      |
| 5月12日(土) 日本木青連 第2回理事会           | 東 京:江東区文化センター      |
| 5月13日(日) 日本木青連 全国大会             | 東 京:よみうりホール        |
| 5月29日(火) ウッドスタート宣言              | 長 野:ホテル国際21        |
| 5月31日(木) 第30年度 長野県木材産業政治連盟 通常総会 | 長 野:ホテル信濃路         |
| 第30年度 長野県木材協同組合連合会 表彰式          | 長 野:ホテル信濃路         |
| 6月2日(土) 長野県 木青連第1回定例理事会         | 長 野:林業センター         |
| 6月22日(金) 日本木青連「知る学ぶリーダー塾」       | 長 野:伊那食品工業(株)      |
| 6月30日(土) 日本木青連 第3回理事会           | 北海道:TKRガーデンシティアバ札幌 |
| 長野県木材産業振興基金第27回通常総会             | 長 野:林業センター         |
| 7月14日(土) 長野県木青連 第2回理事会          | 長 野:長野木材協同組合       |
| 7月21日(土) 北信越協議会                 | 福 井:かわだ温泉ラポートかわだ   |
| 7月22日(日) 信州山の日 木工教室             | 長 野:なべくら高原         |
| 7月28日(土) 環境フェア 木工教室             | 長 野:ビッグハット         |
| 7月29日(日) 環境フェア 木工教室             | 長 野:ビッグハット         |
| 9月15日(土) 日本木青連 第3回理事会           | 愛 知:ウインクあいち        |
| 9月23日(日) 長野市立博物館まつり 木工教室        | 長 野:長野市立博物館        |
| 10月20日(土) 信州バザール 木工教室           | 松 本:やまびこドーム        |
| 10月21日(日) 信州バザール 木工教室           | 松 本:やまびこドーム        |
| 11月2日(金) 第41回長野県児童・生徒木工コンクール審査会 | 松 本:合同庁舎           |
| 11月17日(土) 長野県木青連 第5回理事会         | 東 京:原木会館           |
| 12月3日(月) 県木連と県議会農政林務委員会との懇談会    | 長 野:県庁議会棟          |
| 12月8日(土) 木工工作コンクール 表彰式          | 長 野:長野市立博物館        |
| 長野県木青連 第3回理事会                   | 長 野:林業センター         |
| 北信越地区協議会                        | 長 野:林業センター         |
| 1月19日(土) 日本木青連 第6回理事会           | 東 京:江東区産業会館        |
| 2月16日(土) 長野県木青連 第4回理事会          | 長 野:林業センター         |
| 3月15日(金) 日本木青連 理事予定者会議          | 東 京:江東区産業会館        |
| 3月22日(金) 正副会長・事務局引き継ぎ会議         | 長 野:林業センター         |

# 平成30年度 組織図



# 平成30年度 出向者

|   |   |
|---|---|
| <b>〈1〉日本木材青壮年団体連合会</b><br>理事 木材活用委員会 委員長 田中 俊章 [東信木青連]<br>理事 会 団 長 澁澤 一吉 [北信木青連]<br>理事 木材活用委員会 副委員長 土倉 宜也 [北信木青連]<br>理事 木材活用委員会 副委員長 寺西 勝 [松本材青会]<br>木材活用委員会 委員 宮崎 淳貴 [北信木青連]<br>理事 木育推進委員会 副委員長 印出 晃 [松本材青会] | <b>〈4〉長野県産材振興対策協議会</b><br>理事 澁澤 一吉 [北信木青連]<br>幹事 宮崎 淳貴 [北信木青連]    |
| <b>〈2〉日本木材青壮年団体連合会 北信越地区協議会</b><br>県会 団 代 表 澁澤 一吉 [北信木青連]<br>県会 団 代 表 田中 博文 [東信木青連]<br>県会 団 代 表 宮崎 淳貴 [北信木青連]<br>県会 団 代 表 山浦 豊弘 [東信木青連]   | <b>〈5〉長野県木材産業政治連盟</b><br>副 会 長 澁澤 一吉 [北信木青連]<br>委 員 田中 博文 [東信木青連] |
| <b>〈3〉長野県木材産業振興基金</b><br>理 事 澁澤 一吉 [北信木青連]<br>理 事 田中 博文 [東信木青連]<br>評 議 員 土倉 宜也 [北信木青連]<br>評 議 員 宮崎 淳貴 [北信木青連]   | <b>〈6〉(公財)長野県緑の基金</b><br>評 議 員 澁澤 一吉 [北信木青連]                      |

## 一年を振り返って



平成30年度 長野県木材青壮年団体連合会  
直前会長

田中 一興

### 「発展に向けた一年」

昨年度の会長に続き、直前会長を拝命し、一年間勤めさせていただきました。今年度は、昨年度末の諸事情から急遽、澁澤会長、土倉副会長、山崎会団長をはじめとする北信木青連のみなさんに重責をお受けいただき、改めましてこの場をお借りし、心から御礼申し上げます。

この二人を中心とする長野県木材青壮年団体連合会の運営は、意見を戦わせることもありながら、順調に運営され、以前、直前会長経験者の方から聞いた「本当に直前になると気が楽だよ。」と言われた通り、それを実感する一年となりました。

しかしながら、昨年度末のみならず今年度末も、業界若手団体としての課題が浮き彫りになりました。会員減少、それにもかかわらず、山や木に関するイベントへの参加要請は以前に比べ増え、役員はじめ会員の負担は増えたように感じます。

何のために、この会の活動をしているのか、仕事や自分の成長に繋がっているのか。それぞれがどこかで考え、答えを探している状況なのではないでしょうか。それに対して、考えるより、まず動く、参加してやってみるといのも一つではないかと思えます。動かなければ何も起こりませんが、動けば何かが起こる、発見できる可能性はあります。

他方、会として来年度以降、大きな課題に対して変化を少なくてはいけない時だと思えます。会に復活され、代行副会長から会長をお受けいただいた田中博文新会長には、それに向けて大いに、思い切って手腕を振るってもらいたいと思えます。

「平成」から「令和」に時代は変わるように、木青連も新たな時代に向け発展していくことを心から願っております。



平成30年度 長野県木材青壮年団体連合会  
会長代行副会長

田中 博文

本年度は会長代行副会長として、木青連活動に携わらせていただきました。

私は今年、10年程のブランクを経て木青連に復帰していきなりの会長代行副会長。県での活動も初めてで、見るもの聞くもの総てが初めての1年間でした。みなさんが当たり前になる事もなく、澁澤会長をはじめみなさんにご迷惑ばかりおかけしましたが、なんとかみなさんの顔も覚え1年の流れもだいたい飲みこめました。

次年度もまだまだわからないことだらけでみなさんにご迷惑おかけすると思いますが、なんとか歴代の会長から回ってきたバトンを次に回せるよう頑張りたいと思えます。

今年度1年ありがとうございました。また来年度もよろしく願っています。



平成30年度 長野県木材青壮年団体連合会  
財務担当副会長  
日本木材青壮年団体連合会 出向  
木材活用委員会 副委員長

土倉 宜也

今年度は澁澤会長の下、財務担当副会長を務めさせていただきました、主に2つの事業の担当をさせていただきました。

1つ目は理事会の運営です。不慣れな理事会運営でご迷惑お掛けしたかと思いますが、会長をはじめ、理事メンバー、会員の皆様のおかげで一年間無事に乗り切ることが出来ました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

2つ目は県木青連担当の木工教室です。信州環境フェア2018・信州山の日と開催させていただきました。多くの方々から「木のイス」製作から県産材の良さ、木のぬくもりを感じて頂き、大変喜んで頂けたと思っております。参加してくれた親子が、真剣に作ってくれている姿を見るのは将来の可能性を感じずにはいられません。昭和から平成へ、そして令和へと時代は移り変わっていきますが、木は世代を超えて私たちに温もりを与えてくれる物ではないでしょうか？

国の木材活用に対する施策や事業、県産材の利用推進に関する取り組み等、木材業界に吹く追い風を大いに活用し、木の素晴らしさをより多くの方々に伝え続けていくことが我々木青連の使命なのだと思います。今こそ若い英知を結集し、一致団結して頑張っていきたいと思います。

また、平成30年度は、日本木材青壮年団体連合会に木材活用委員会の委員として出向させていただきました。全国から集まる木青連の仲間と親睦を深め木材活用コンクールに向けて一年活動してきました。本年度は全国から173点の応募があり、1次審査差を通過した87作品中から、入選20点を選ぶ本審査会では数多く素晴らしい作品を見ることができ、大変勉強になりました。また、司会の大役も頂きましたが、皆様のお陰で無事終えることができました。

全国大会で行われる表彰式まで、木材活用委員会の仕事が残っています。悔いのないように活動をしたと思います。一年間ありがとうございました。



平成30年度 長野県木材青壮年団体連合会  
副会長

降幡 聡

本年度は澁澤会長のもと、木工工作担当副会長を務めさせていただきました。

長野県木青連の活動の中でも大きな事業として毎年行っております「長野県児童生徒木工工作コンクール」も41回目を迎えました。今年度は県内各地より参加学校数133校、総数4619点もの作品の応募をいただきました。その中から11月2日の審査会にて最優秀賞他が選出され、12月8日には長野市で最優秀賞・特別賞の受賞者の皆様をお招きして表彰式を盛大に行うことが出来ました。また、その中から5点を全国児童生徒木工工作コンクール一次審査へ応募したところ5点すべてが一次審査を通過し、最終審査にて4点が入賞する優秀な成績を修められました。

どの作品も木材の良さが感じられ、子供の創造性に驚かされる力作ばかりでした。子供たちが木のすばらしさを実感するとともに、

自分の可能性をも広げる機会になっており、この事業の重要性をあらためて実感しました。

生徒数が年々減少しているため致し方ないとは思いますが、今年は昨年より応募数が減少したことは残念でした。これは木青連の会員数減少傾向の問題にも重なる部分ですが、困難な課題を乗り越え木青連が発展することを信じております。

最後に県内各地にて作品の審査、集計、ならびに審査会への作品の持ち込みをしていただいた皆様、審査会・表彰式でご協力をいただいた会員の皆様をはじめとする関係各位に心から感謝申し上げます。一年間、誠にありがとうございました。



平成30年度 日本木材青壮年団体連合会 出向  
木材活用委員会 委員長

田中 俊章

平成30年度は日本木材青壮年団体連合会の木材活用委員会委員長として出向しました。木材活用委員会は、木材活用コンクールを企画・運営をする委員会です。

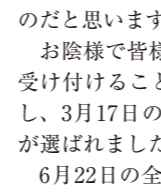
木材活用コンクールは平成9年に創設されて以来、その趣旨と目的を継承しながら今回で22回目を迎えました。ウッドデザイン賞や木の建築賞などの類似の木材関連の賞が増えてきた中で、農林水産省と国土交通省の二つの大臣賞を最優秀賞に持つコンクールは他にはありません。また、木造や木材利用に特化した賞の中では、権威のある賞の一つであると称されるまでになりました。

木材活用コンクールは木材の普及啓発活動の一環として、日本木青連の重要な事業の一つとして先輩方から引き継いできた事業です。今年度の鈴木会長は他にはありません。また、木造や木材利用に特化した賞の中では、権威のある賞の一つであると称されるまでになりました。

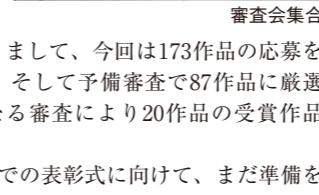
木材活用コンクールの趣旨と目的は、木の良さを活かした作品や従来にはない新しい木材の利用や見せ方、工法などを用いた作品を公募し表彰することで、木の伝統と文化を次世代へ繋いでいくことが目的です。ここ最近の建築業界の流れとしては、木材自給率の向上を目的とした「公共建築物等木材利用促進法」が施工されてから7年が経過したこともあり、全国各地で数多くの木造建築物が建てられるようになりました。また、新しい木質材料や技術工法も次々と開発されています。更には木造建築における法制度の緩和が進み、今後もさらなる普及が期待されています。また、木質空間の持つ居心地の良さなどが再評価され、内装に木材を利用する空間が増えてきました。これらは、地道な木材の普及啓発活動が木材活用の新たな兆しとして実を結んだのだと思います。

お陰様で皆様のご協力によりまして、今回は173作品の応募を受け付けることができました。そして予備審査で87作品に厳選し、3月17日の本審査で厳正なる審査により20作品の受賞作品が選ばれました。

6月22日の全国会員愛知大会での表彰式に向けて、まだ準備を



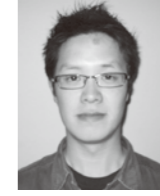
審査風景



審査会集合

おこなっている所ですので、引き続きどうぞよろしく願っています。

そして、1年間どうもありがとうございました。



平成30年度 日本木材青壮年団体連合会 出向  
木材活用委員会 副委員長

寺西 勝

平成30年度は、日本木材青壮年団体連合会に木材活用委員会の副委員長として出向させていただきました。

木材を多く利用しているだけでなく、「こんな使い方？」と思うような使用方法もあり、特に最終審査会は驚きの連続です。審査員の先生方は視点も違い、大変勉強になります。建築関係だけでなく、木材関係の会員の皆さんにも関わって頂きたいです。

木材活用コンクールは、次年度全国大会での表彰式まで活動が続きます。最後まで気を緩めることなく活動したいと思えます。



平成30年度 日本木材青壮年団体連合会 出向  
木育推進委員会 副委員長

印出 晃

今年度は、日本木材青壮年団体連合会木育推進委員会副委員長として、日本木青連に出向させていただきました。

木育推進委員会のメイン事業は第43回全国児童・生徒木工工作コンクールです。写真と作文による一次審査を経て、実物を集めての最終審査となります。本年度も多数の応募作品の中からよりすぐりの力作が選出されました。喜ばしいことに今年も長野県からの出展作品も選出されました。この事業も43回を数えますが、かなり定着してきたなど実感いたしました。

また、木育推進委員会では、今年度「木育行動指針の作成」という事業を実施しました。

日本木青連はこれまで木に関する様々な普及・啓発活動を行ってきました。そのひとつとして「全国児童・生徒木工工作コンクール」をはじめとする「木育活動」も展開してきました。国としても平成18年9月に閣議決定された「森林・林業基本計画」の中で、「木育」とも言うべき木材利用に関する教育活動についても記載されました。

現在においては、林業・木材業に関わる方だけではなく、様々な分野の方が木育について論じ、また活動を行なっておられ、考え方や視点、取り組み方法についても千差万別です。全国の各会団が行っている「木育活動」も当然のことながら多岐にわたり、様々な形の「木育」が存在しておりますが、その軸となる「想い」は共通しております。

そこで、その「想い」＝「日本木青連の木育活動の根幹」を「木育行動指針」という形として明文化することで、今度の様々な「木育活動」における確かな軸となり更なる団結力を発揮できるとともに、将来にわたり持続可能な日本木青連の「木育活動」がさらに推進されるための新たな一歩となることを願ってこの事業に取り組みました。来年度以降、今年度作成した木育行動指針に肉付けをしていただき、今後も木育活動が盛んに継続していくことを望みます。

# 第41回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

**【趣 旨】** 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切に心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。

そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

**【主 催】** 長野県木材青壮年団体連合会

**【共 催】** 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会

**【後 援】** 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、abn長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

**【対 象 者】** 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

- 【応募基準】**
- (1) テーマ／自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)
  - (2) 大きさ／タテ・ヨコ・高さ それぞれ60cm以下とする。
  - (3) 締切り／平成30年10月5日(金)
  - (4) 送り先／最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

| 事業日程 | 年月日         | 場 所  | 内 容                                |
|------|-------------|------|------------------------------------|
|      | 平成30年 7月上旬  | 県下全域 | 長野県下の全学校長宛に案内送付各関係機関へ依頼書送付         |
|      | 7月～9月末      | 県下全域 | 木工作品製作(学校又は夏休み期間中)各材料の提供配布は地元会員が手配 |
|      | 10月5日       | 県下全域 | 作品応募締め切り(作品の回収)                    |
|      | 10月6日～      | 県下全域 | 各地区審査会を実施                          |
|      | 11月2日       | 松本市  | 長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会               |
|      | 11月5日～9日    | 松本市  | 最優秀賞(県知事賞)等9作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示     |
|      | 11月26日～30日  | 長野市  | 最優秀賞(県知事賞)等9作品を長野県庁1階講堂前にて展示       |
|      | 12月8日       | 長野市  | 長野市「長野市立博物館」にて表彰式                  |
|      | 平成31年 1月20日 | 全 国  | 全国児童生徒木工工作コンクール 一次審査               |
|      | 3月3日        | 岐阜県  | 全国児童生徒木工工作コンクール 二次審査               |
|      | 6月22日       | 愛知県  | 全国児童生徒木工工作コンクール表彰式                 |

**【審査基準】** 各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。  
また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行なった。

- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
- ・木の持味を生かし独創性に優れていること。
- ・機能、デザインが優秀であること。
- ・工作技術が優秀であること。

**【審査会】** 平成30年11月2日(金) 松本合同庁舎(109会議室)

**【審査委員】** 審査委員長 長野県総合教育センター  
専門主事 宮原 啓一 様

審査委員 長野県林務部 信州の木活用課  
県産材利用推進室  
室 長 丸山 勝規 様  
長野県中部森林管理局 中信森林管理署  
次 長 中村 栄一 様  
(公財)長野県緑の基金  
常務理事兼事務局 長 関 眞一 様  
長野県県産材振興対策協議会 理事  
長野県木材協同組合連合会 専務理事  
小島 和夫 様  
長野県木材青壮年団体連合会  
会 長 澁澤 一吉 様  
直前会長 田中 一興 様  
副 会 長 土倉 宜也 様  
副 会 長 降幡 聡 様  
計9名



外部審査委員(左手前から)  
長野県林務部 信州の木活用課  
県産材利用推進室 丸山室長 様  
長野県中部森林管理局 中信森林管理署 中村次長 様  
長野県総合教育センター 宮原専門主事 様  
長野県木材協同組合連合会専務理事・  
長野県県産材振興対策協議会理事 小島 様  
(公財)長野県緑の基金 関常務理事 様

**【審査風景】** 平成30年11月2日(金) 松本合同庁舎(109会議室)



**【展示風景】** 平成30年11月5日(月)～9日(金) 松本合同庁舎1階ロビー  
平成30年11月26日(月)～30日(金) 長野県庁1階ロビー



**【表彰式】** 平成30年12月8日(土) 長野市「長野市立博物館」



# 第41回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

## 1. 最優秀賞（長野県知事賞）

| 作品名          | 氏名    | 学校名       | 学年 |
|--------------|-------|-----------|----|
| じいちゃん作った水車小屋 | 清水 大我 | 上田市立長小学校  | 4年 |
| ワシ           | 宮嶋 真  | 小谷村立小谷小学校 | 6年 |
| スタンド         | 清水 太陽 | 原村立原中学校   | 1年 |

## 2. 長野県教育委員会賞

| 作品名 | 氏名    | 学校名       | 学年 |
|-----|-------|-----------|----|
| 鯉   | 中澤 裕輝 | 伊那市立春富中学校 | 3年 |

## 3. 林野庁中部森林管理局 局長賞

| 作品名   | 氏名    | 学校名         | 学年 |
|-------|-------|-------------|----|
| きのこの森 | 高橋 莉心 | 南木曾町立南木曾小学校 | 2年 |

## 4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

| 作品名      | 氏名    | 学校名       | 学年 |
|----------|-------|-----------|----|
| 森のツリーハウス | 藤沢 碧海 | 高山村立高山小学校 | 4年 |

## 5. 長野県産材振興対策協議会 会長賞

| 作品名  | 氏名    | 学校名         | 学年 |
|------|-------|-------------|----|
| 和の明り | 鈴木 天翔 | 南木曾町立南木曾小学校 | 5年 |

## 6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

| 作品名 | 氏名    | 学校名         | 学年 |
|-----|-------|-------------|----|
| 登竜門 | 須田 蓮也 | 佐久穂町立佐久穂小学校 | 5年 |

## 7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

| 作品名  | 氏名   | 学校名         | 学年 |
|------|------|-------------|----|
| 蟬の羽化 | 原 悠人 | 南木曾町立南木曾小学校 | 6年 |

## 8. 優秀賞

| 作品名          | 氏名    | 学校名          | 学年 |
|--------------|-------|--------------|----|
| ハリネズミのえんぴつたて | 柿澤 篤志 | 長野市立芹田小学校    | 3年 |
| 大きなさかなをつりたいな | 長張 龍音 | 須坂市立旭ヶ丘小学校   | 1年 |
| サッカーゲーム      | 白倉 陽彩 | 東御市立滋野小学校    | 4年 |
| やき鳥屋         | 内堀 世椰 | 御代田町立御代田北小学校 | 2年 |
| 泉小太郎とその仲間たち  | 赤羽 善  | 大田市立大町南小学校   | 2年 |
| 棚スタジアム       | 向山 恭平 | 茅野市立宮川小学校    | 6年 |
| ライチョウ        | 伊藤 海成 | 茅野市立豊平小学校    | 6年 |
| しきりが動く棚      | 菊池 紫音 | 原村立原中学校      | 1年 |
| 赤沢森林鉄道       | 上田 琢磨 | 上松町立上松小学校    | 4年 |
| ブタのちょきん箱     | 日室 果依 | 南木曾町立南木曾小学校  | 4年 |

## □第41回長野県児童・生徒木工工作コンクール内訳

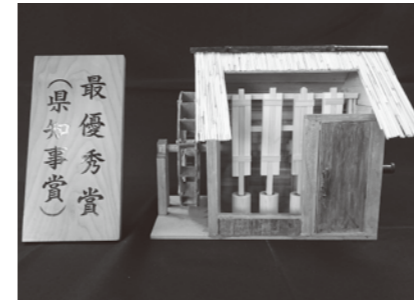
|           |        |
|-----------|--------|
| 総参加人数     | 4,608名 |
| 小学校       | 131校   |
| 中学校       | 2校     |
| 盲・ろう・養護学校 | 0校     |
| 合計        | 133校   |

|            |        |
|------------|--------|
| 審査会出品数     | 62点    |
| 入選（左記の1～7） | 9点     |
| 優秀賞        | 10点    |
| 佳作         | 551点   |
| 努力賞        | 4,049点 |
| 総作品数       | 4,619点 |

## ■最優秀賞（長野県知事賞）

### じいちゃんと作った水車小屋

上田市立長小学校4年 清水 大我



#### ●作品を創ってみての感想

じいちゃんに教えてもらって1週間かけて作りました。ノコギリで木を切ったり、ドリルであなをあけたりして作りました。ポンドやしゅん問せ着ざいなどで木をくっつけたりしました。去年よりむずかしかったけど楽しかったです。じいちゃんとやってみて楽しかったです。来年もやりたいです。

●一番見てほしいポイントは  
しょうじが開くところと水車がまわるところです。水車は、じいちゃんと工夫をして建物の中にベアリングをつけて、水車がなめらかにまわるようにしたところ。しょうじが、ちゃんと開くところとこまかいさんのところ

をみてほしいです。

#### ●苦労した点は

うすの穴をほるところです。ドリルを使ってほったのできんちょうしました。あと木を切るところです。1mmでもずれると長さがたりなかったり、建物が曲がったりしてしまうからです。

●木に触れてどうでしたか  
木はかたくて、ノコギリで切るのにコツがいりました。ほかにも水車の形はむずかしかったので、最初に、穴をあけてから切ったり曲がらないようにゆっくり切ったりしました。むずかしかったけど木はいいにおいでした。

## ■最優秀賞（長野県知事賞）

### ワシ

小谷村立小谷小学校6年 宮嶋 真



#### ●作品を創ってみての感想

庭に生えているかれたケンボナシの木の皮をはがして干すのが大変だったけれど貼りつけて形になっていくのが楽しかったです。やさしい顔になってしまったところが残念だったけれど、出来上がると思っていた以上にうまくできて良かったです。受賞することができて、とてもうれしかったです。

●一番見てほしいポイントは  
羽根の生え方がきれいに見えるように足先から細かく皮をちぎって貼っていったところ。木の皮の色が、きれいに見えるように工夫しました。そして、口ばしはくみを割って使い足のツメは木の根を使いました。

#### ●苦労した点は

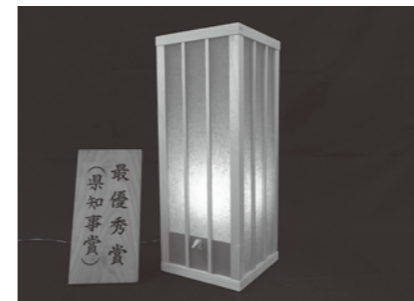
ちょうどいい大きさの流木をさがして、元となる形を組み合わせて作るのがとても難しく苦労しました。流木は、糸魚川の支流の海で探しました。砂浜に打ち上げられていた流木をその場で組み合わせてきめました。

●木に触れてどうでしたか  
木は材料で手ざわりもちがっておもしろいと思った。木の皮をはがす時はうすい皮が何枚も重なっていて、その中に小さな虫がたくさんすんでいて、木は空気をきれいにしてくれるだけではなく、虫たちのすみかになっていることもわかった。

## ■最優秀賞（長野県知事賞）

### スタンド

原村立原中学校1年 清水 太陽



#### ●作品を創ってみての感想

この作品は、家族が、スタンドが欲しいと言っていたことから作りました。昔、手をノミで怪我をして作るのが怖かったけど無事に作れて安心しました。シンプルですが、綺麗にできました。本当は、違う材料にしようとしたが家で親が木工の仕事をしているので木工にしました。木で形をつくりそこにワロンと言う紙をはりました。昔の作品も迫力があったので不安だったけど賞をもらってすごくうれしかったです。これから家族で使っていくのでその時がすぐたのしみです。自分でも想像よりうまくできていてびっくりです。来年もまた出したいなと思いました。

●一番見てほしいポイントは  
ワロンと言う紙でやっているので360°明るくできると思います。暗い時もこの作品1つでまわりを明るくできると思います。スタンドは周りを明るくするものでスタンドにピッタリだと思います。木の所も少しすくなくにしているので、それでさらには明るく見えると思います。寝る時にこのスタンドをつけたらいいかもしれませ

ん。明かりの色を赤にしたのも明るくするためです。

#### ●苦労した点は

ライトを固定する台をつくるのがすごくむずかしかったです。少し形がまちがうと少し暗い所も出てしまうのでピッタリにするのがむずかしかったです。同じ形の木をつくらなくちゃピッタリにできないので同じ長さの木を何本も作りました。微調整も何回もして何日も没頭してやっと完成しました。やった甲斐がある作品だと思います。

●木に触れてどうでしたか  
やっぱり木の性質を知ってそれを利用してつけないと折れたりしてしまうのでそこを気をつけてきたんじゃないかと思いました。木でこんなことができたんだと思ひ、木をもっと知りたいなと思いました。また暇なときに木でもっといろいろな物をつくって家で使っていきたいです。あまっている木とかたたくさんあるのでリサイクルしているいろいろな物を作っていけたらなと思いました。

## ■長野県教育委員会賞

### 鯉

伊那市立春富中学校3年 中澤 裕輝



#### ●作品を創ってみての感想

木は保存の仕方によって割れたり曲がったりしてしまうので、作品を作っている途中の木の保存には特に気をつけていました。この作品は、彫る見本の絵に動きがあるので、木に同じ様に彫るのが大変でした。全て彫り終えるまでに沢山の時間と労力を費やしたけれど、完成した作品を見て、色や趣などの木でしか表現できない良さを改めて感じる事が出来ました。この度は、長野県教育委員会賞に選んで頂き有難うございました。これからも、楽しく木彫りを続けていきます。

●一番見てほしいポイントは  
この作品で一番悩んで時間をかけた鯉全体の雰囲気、動いているように見える背びれ、鯉の顔の三つです。

●苦労した点は

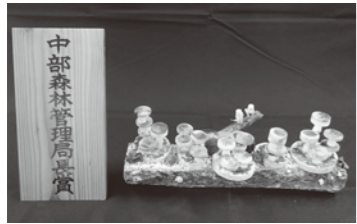
苦労した点は三つあります。一つ目は、一枚の板にいろいろな方向に目が入っていたことです。場所によって彫る向きを変えないと歪みになってしまうのでとても苦労しました。二つ目は、鯉の丸みを出すためにとても深く木を彫らなければならなかったことです。根気と力が要る作業でした。三つ目は、諸事情でとても製作期間が限られていて、集中して一日七時間など長い時間彫り続けなければ間に合わないかなどです。

●木に触れてどうでしたか  
今回の経験を通して、たくさん木のことを考えました。例えばどうしたら木が変形しないか、どうやったらキレイに彫れるかなどです。そして、どれも正しく使うと木もそれにこたえてくれるということが分かりました。これからは正しく木に合った使い方をしていきたいです。

林野庁中部森林管理局長賞

きのこの森

南木曾町立南木曾小学校2年 高橋 莉心



●作品を創ってみたいの感想

この作品にしたのは、学校でもらったざいりょうがキノコの形に見えたからです。お父さんもよくキノコをとってくるので森に生えているところを作ったらおもしろいと思いました。もらったざいりょうだけでは足りなかったので、お父さんにキノコが生えそうな木をとってきてもらいました。木をわってキノコをつけていきましたが、高さのちがいやバランスがむずかしかったです。キノコができてから、森にはどうぶつもいると思ってとりも作ることにしました。のこったざいりょうで上手くできるか心ばいでしたが、上手にできてよかったです。

らい年は、さいゆうしゅうしょうをとりたいです。学校でもらったざいりょうがやくだってよかったです。

●一番見てほしいポイントは  
キノコの高さのちがいや色とバランス、とりがなかなよさそうなどです。

●苦勞した点は  
キノコのバランスと、とりのくちばしをつけるところが細くてむずかしかったです。

●木に触れてどうでしたか  
木はさらさらのものやゴツゴツのもの、おもしろいもの、かたいものと色んなしゅるいがあるとおもしろいです。

公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

森のツリーハウス

高山村立高山小学校4年 藤沢 碧海



●作品を創ってみたいの感想

夏休みキャンプに行ってお木の実を集めました。何をしようか考え、ツリーハウスを作ることになりました。ごっこした木の皮を屋根にしようと思いました。でもつけるのが、むずかしくて何回もこわれてしまったけど、できあがったときは、とてもうれしかったです。木の実でうさぎや花、きのこを作りました。小枝ではしごを作りました。はしごが上手にできてよかったです。くねくねしたり、まっすぐだったり、つるつるしたり、ごっこしてたり、太かったり、細かったり、色々な木をどうやって使うか考えながらツリーハウスを作るのがとても楽しかったです。

賞をもらえてうれしかったです。

●一番見てほしいポイントは  
ツリーハウスです。ツリーハウスの屋根を作るとき、木の皮をはいで屋根の形にしていくなかとてもむずかしかったです、そこを見てほしいです。

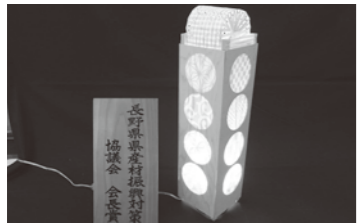
●苦勞した点は  
太い木を切るのが、かたくて時間がかかり苦勞しました。

●木に触れてどうでしたか  
折れやすかったり、かたかったり、ざらざらしていたり、ごっこしてたりして、どうやって使おうか考えるのがむずかしかったです。

長野県産材振興対策協議会 会長賞

和の明り

南木曾町立南木曾小学校5年 鈴木 天翔



●作品を創ってみたいの感想

木の特徴を知りながら楽しく創れてよかった。「木目」で、やぶれてしまったり「木目」で、おれやすくなったり「木目」がすぐ創るときキーワードになり「木目」が、ぼくと木が「相棒」になった。初めて県までもっていかれて、初めて町の中でも銀賞と町長特別賞の2つの賞も初めてでなにかもが初めてですごくうれしかったです。うれしさといっしょに作ってよかったと思った。初めての体験をありがとうございました。

●一番見てほしいポイントは  
ライトをつけると和柄がかげでうきでるところ。上に木のうすい曲がる板を組んでまわりだけではなく上もきれいに見えるようにしたところ。

●苦勞した点は  
やはり、和柄を切ったこと、上のあみものをしたところ。

●木に触れてどうでしたか  
うすい板のような木をつかった時に最初はじがやぶれてきてしまいくらうした。

長野県木材協同組合連合会 理事長賞

登竜門

佐久穂町立佐久穂小学校5年 須田 蓮也



●作品を創ってみたいの感想

ウロコを1こづつ作るのもはるのもとても大変でした。はり始めたイメージどおりの竜になったのががんばって最後まではれました。カナを使って雲を表現しました。カナは今でも使ったことがあったので思ったより簡単でした。全部作るのに1ヶ月かかりました。完成した時は、すごくうれしかったです。今回は、おじいちゃんに手伝ってもらったおかげで想像した通りに竜が出来てうれしかったです。長野県の有名なリングははくの大好物なのでその木を使って作品を作れたのでよかったです。これからも長野県の木を大切にしていきたいです。

●一番見てほしいポイントは  
ウロコです。なぜなら作るのもはるのもすごく時間がかかったからです。1枚1枚いれないに作ることで、竜のしなやかさが表現できたのではないかと思います。

二番に見てほしいのは、顔です。ひげもキノコに見るようにつけました。竜のひげに合いそうな枝をみつけられたのでそこもみてほしいです。

●苦勞した点は  
木のほうをウロコをはるためにすべすべにしました。そのためにヤスリかけをしたのですが電動のものを使ったので大変でした。一番大変だったのはウロコです。ウロコ同士が重ならないようにするのが大変でした。

●木に触れてどうでしたか  
木の種類 手ざわりがちがいました。うすく雲にしたけずりかすは表面がツルツルしてました。こんな風にけずれるのがおもしろかったです。はくの家には木がたくさんあります。サクラ、リング、ひの木など木の種類によってかたさや、におい、色がちがいます。

長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

蟬の羽化

南木曾町立南木曾小学校6年 原 悠人



●作品を創ってみたいの感想

夏休みに蟬の羽化を見て木工作で作ろうと思いました。木の角材を削って、胴体を作りました。難しかった所は、足で固定する所でした。蟬の脱け殻を茶色く塗りました。おじいちゃんにも手伝ってもらいながら作りました。けっこう、よくできたと思いました。

●一番見てほしいポイントは  
蟬が脱け殻に捕まっている所

●苦勞した点は  
蟬の足で固定する所

●木に触れてどうでしたか  
削ると、木の良い香りがした。

信州山の日イベント2018[木工教室]事業報告

事業報告書

【事業名称】信州山の日イベント2018 木工教室

【実施日時】平成30年7月22日(日) 10:00~16:00

【実施場所】飯山市 なべくら高原・森の家 ※小雨決行

【対象者】一般(信州山の日イベント 来場者)

【担当】土倉 宜也

【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に信州山の日PRや木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

【事業内容】長野県林務部が主催する「信州山の日イベント2018」で木工教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット) 60セット

＜1回毎の講座内容＞

イス作り開始(50分)

※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

＜準備品＞

イスキット60セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/テント2張(主催者用意)/釘、紙やすり/コンパネ10枚/

ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券

【スケジュール】7月22日 8:30~ 集合・材料搬入

10:00 オープン

11:00~16:00 木工教室

16:00~ 片づけ、搬出

《木工教室開催時間》

1回目 11:00 ~ 11:50 [15組]

2回目 13:00 ~ 13:50 [15組]

3回目 14:00 ~ 14:50 [15組]

4回目 15:00 ~ 15:50 [15組]

【当日の風景】





## 体験と学びの環境博(信州環境フェア2018)[木工教室]事業報告

### 事業報告書

【事業名称】体験と学びの環境博(信州環境フェア2018) 木工教室

【実施日時】平成30年7月28日(土)～29日(日) 10:00～16:00

【実施場所】長野市 ビッグハット(若里多目的スポーツアリーナ)

【対象者】一般(体験と学びの環境博 来場者)

【担当】土倉 宜也

【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

また、同時に木育教室を開催し長野県の森林の状況や木材の使われ方などを知っていただく。

【事業内容】今年から名称を新たに「体験と学びの環境博」とし信州環境フェア実行委員会が主催する

「体験と学びの環境博(信州環境フェア2018)」の中で木工教室・木育教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 110セット

＜1回毎の講座内容＞

①森林の話し(2分)

②イスの作り方(3分)木青連

③イス作り開始(45分) ※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

＜準備品＞

イスキット110セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/コンパネ 10枚/ブルーシート/

掃除道具/受付簿、整理券

【スケジュール】7月27日 16:00～17:00 材料搬入

7月28日 10:00～17:00 (9:30集合)

7月29日 10:00～16:00 (9:30集合)

16:00～ 片づけ、搬出

#### 《木工教室開催時間》

1回目 10:30～11:30 [15組]

2回目 11:40～12:40 [15組]

3回目 13:30～14:30 [15組]

4回目 14:40～15:40 [10組]

#### 【当日の風景】



## 長野市立博物館まつり[木工教室]事業報告

### 事業報告書

【事業名称】長野市立博物館まつり 木工教室

【実施日時】平成30年9月23日(日) 9:30～15:00

【実施場所】長野市立博物館

【対象者】一般(長野市立博物館まつり 来場者)

【担当】土倉 宜也

【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材

に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

【事業内容】長野市立博物館が主催する「長野市立博物館まつり」で木工教室を開催。

キット販売によるミニ椅子づくり 14セット

＜内容＞

イスキットを1,500円で販売し、木工教室を開催。特に時間割をしないで、9:30～15:00の間フリーでイス作りを行った。

木青連は、参加者のイスづくりをサポート

＜準備品＞

イスキット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/コンパネ/ブルーシート/掃除道具

【スケジュール】9月23日 8:30～ 集合・材料搬入

9:30～ オープン

9:30～15:00 木工教室

15:00～ 片づけ、搬出

#### 【当日の風景】



## 信州バザール2018[木工教室]事業報告

### 事業報告書

【事業名称】信州バザール2018 木工教室

【実施日時】平成30年10月20日(土)～21日(日)

10:00～16:00

【実施場所】松本市 やまびこドーム

【対象者】一般(信州バザール 来場者)

【担当】土倉 宜也

【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木育事業の一環として、子供たちが木に触れあい木

を身近に感じ愛着を持ちながら「ものを作る喜び」を知ってもらうとともに、森林の役割や木材の良さ及び利用方法等について学んでもらう。

信州バザール実行委員会が主催する「信州バザール2018」で木工教室・木育教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 110セット

・1回の開催時間は約50分

※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

・広さ: 約10m×10m

＜準備品＞イスキット110セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/コンパネ/ブルーシート/掃除道具/整理券

【スケジュール】10月19日 15:00～17:00 材料搬入

10月20日 10:00～16:00 (9:30集合)

10月21日 10:00～16:00 (9:30集合)

16:00～ 片づけ、搬出

#### 《木工教室開催時間》

1回目 10:00～10:50 [11組]

2回目 11:00～11:50 [11組]

3回目 12:30～13:20 [11組]

4回目 13:30～14:20 [11組]

5回目 14:30～15:20 [11組]

#### 【当日の風景】



# 平成30年度事業実施報告書



北信木青連 会会長  
**山崎 泰雄**

今年度は長野県木青連の会長を、当会の濹澤君が務める事になり北信木青連として、いろいろとサポートを行っていかねばならない所でしたが、至らない点が多々有り、木青連の会員の皆様いろいろな迷惑をおかけいたしましたが、皆様のご協力のおかげで何とか1年間活動することができました。

さて、北信木青連の活動ですが、今年度より新に2人の新入会員も加わりまして、例年行っております城東小学校での木工教室に加えまして、長野市のMウエーブで行われましたハンドクラフトフェアや、長野市役所で開催されました農業フェア、七二会地区での木工教室と例年以上にいろいろな場所で木工教室を開催することが出来ました、どの会場でも大勢の方に参加していただき、皆さん楽しそうにイス作りや本立て作りを体験していただくことができました。準備等いろいろ大変な面もありま

すが、多くの方に「木」に触れて頂き、その魅力を体験していただくのは大変大事な事だと思っております、地道な活動ですが、今後も様々な場所や機会で開催していけたらと思います。

今年度で平成の時代が終わり、新しい元号の時代がやってきます。木青連の活動も新しい時代にあった活動に変わって行かなければならないと思っております、昭和の時代から諸先輩方が御苦労され今日までつづいてきた当会を、今後もより発展して行ければと思います。

最後になりますが、1年間無事に活動できましたのも、北信木青連会員及び長野県木青連会員皆様のご協力のおかげです、改めまして御礼申し上げます。

1年間ありがとうございました。

## 北信木青連 PR事業 事業報告

【事業名】ハンドクラフトフェア(木工教室)

【日時】平成30年7月15日(日)  
9:00~13:00

【場所】長野市 Mウエーブ

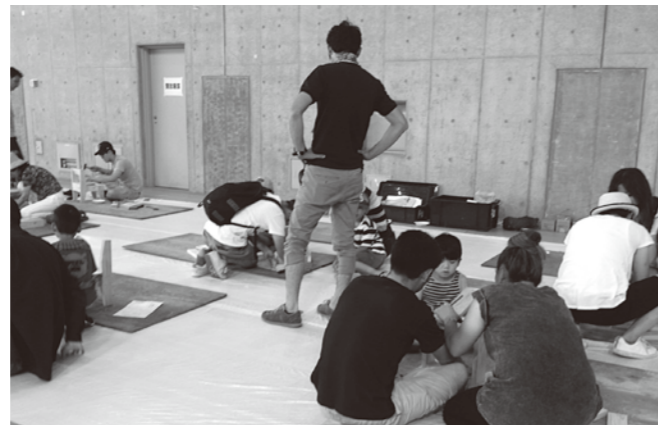
【参加者数】(木工教室 来場者数)約80人

【内容・題材】ミニイスづくり(イスキット) 30セット

＜講師内容＞

1 イスの作り方説明(5分) 木青連

2 イス作り(45分) 木青連(サポート)



## 北信木青連 PR事業 事業報告

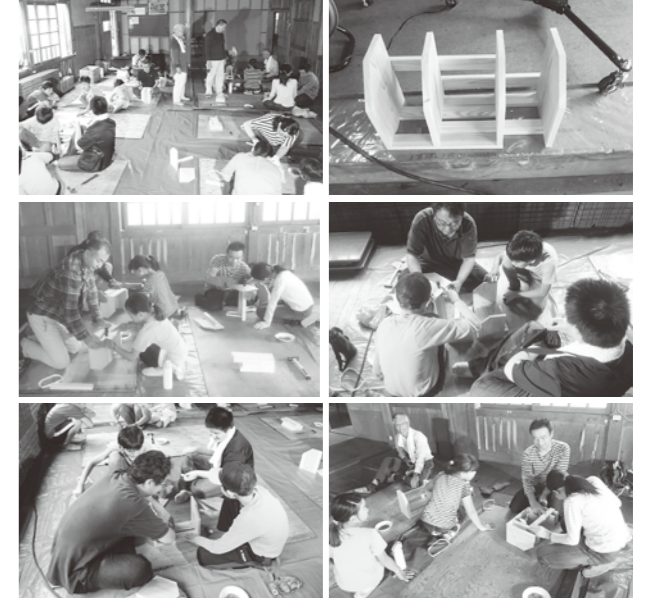
【事業名】木工教室(七二会育成会木工教室)

【日時】平成30年9月8日(土)  
10:00~15:00

【場所】長野市 旧七二会岩草分校

【参加者数】(木工教室 来場者数)約50名

【内容・題材】本立てづくり体験 19セット  
県産材(スギ)による本立て作り



【事業名】長野市城東小学校 木工教室

【日時】平成30年9月15日(土) 9:00~13:00

【場所】長野市 城東小学校

【参加者数】(木工教室 来場者数)約50人  
城東小学校生徒及び保護者

【内容・題材】・ミニイス作り(イスキット) 30セット  
・マイ箸作り(箸キット) 30セット

＜講師内容＞

1 イスの作り方説明(5分) 木青連

2 イス作り(45分) 木青連(サポート)

3 箸作りは随時受付 木青連(サポート)



【事業名】木工教室(長野市農業フェア)

【日時】平成30年10月20日(土)  
9:00~15:00

【場所】長野市 桜スクエア  
(長野市役所 第一庁舎西側広場)

【参加者数】(木工教室 来場者数)約150名

【内容・題材】椅子づくり体験 50セット  
県産材による椅子作り



## 平成30年度事業実施報告書



東信木青連 会長  
田村 紘一

東信木青連は上小支部と佐久支部に分かれて活動しています。

上小支部では、7月に大工の疑似体験という事で小学校へ体験授業の指導にいきました。また1月には、毎年上小地区独自で開催している木工工作コンクール表彰式を行いました。

佐久支部では、毎年恒例の佐久バルーンフェスティバルにて2日間、親子木工教室を出展しました。強風の為気球が飛ばない日もありましたが、沢山の親子に木に触れあってもらう事ができました。

木工工作コンクールにおきましても、毎年素晴らしい作品が出品され審査においても頭を悩ませています。これはある意味嬉しい悩みでもあります。子供達が構想から製作までの間、木に触れ木の特徴を活かし新しい形にする。子供だからこそ発想できる作品を目にし、木育事業として今後も木青連活動の

主軸となるこの活動がより自分達のステップアップに繋がる事と思います。

今年度より新たに4人の新規会員が加わり、総勢11人となりました。木青連綱領にもありますが、おなじ世代の木材人として交流を深め、木材界の発展のために協力しあい木青連活動をおこなっていきたくております。次年度は東信木青連より、田中博文君が平成31年度長野県木青連会長を務めます。東信木青連会員一同団結して会長をサポートしていきたいと思っております。

最後になりますが、初めての東信会団長を務めましたが、本年度の活動が進められましたのは県会員及び東信木青連会員の皆様に支えて頂いたおかげが無事務めることができました。

1年間ありがとうございました。

### 東信木青連 PR事業 事業報告

【事業名】佐久バルーンフェスティバル2018

[木工教室]

【日時】平成30年5月3日(土)～4日(日)

9:00～17:00

【場所】佐久市 千曲川スポーツ交流広場

【参加者数】(来場者数)301人

【木青連出席者氏名】新井 藤弘(終日)

山浦 豊弘(終日)

松木 達征(終日)

田中 俊章(終日)

中嶋 章(終日)

土屋 善樹(終日)

田村 紘一(終日)

【内容・題材】木工教室を開催。

・小椅子づくり(イスキット)2日間  
301セット

※木青連は、参加者の椅子づくりをサポート



### 東信木青連 PR事業 事業報告

【事業名】木育事業

【日時】平成30年7月27日

【場所】上田市立北小学校

【参加者数】(来場者数)子15名、親15名

【木青連出席者氏名】島田 直政

齋藤 篤

【内容・題材】ミニチュアハウスづくり、  
なべしきづくり



【事業名】森の学校

【日時】平成30年10月13日

【場所】上田市市民の森

【参加者数】(来場者数)子20名、親20名

【木青連出席者氏名】島田 直政

小林 寿徳

【内容・題材】なべしきづくり



# 平成30年度事業実施報告書



松本材青会 会団長  
**大藏 俊介**

## 「イレギュラー・・・」

平成30年度は、副会団長として佐原会団長を支え、松本材青会会員並びに長野県木材青壮年団体連合会の会員の皆さんと、木材界の発展を通じよりよい社会を建設する一助となるべく活動する・・・予定でいました。それがなぜか諸事情により、私が松本材青会の会団長として今この「今年一年をふりかえって」の文章を書いています。

世界組織である青年会議所には「個人の修練」という信条が謳われていますが、イレギュラーな形でこの「修練」を与えてくれた佐原君に心から感謝すると共に、至らない会団長でご迷惑をお掛けしたことを瀧澤会長はじめ役員及び会員の皆様に心からお詫びを申し上げます。

しかしながら、以前私が会団長を務めさせていただいた時より、松本でも長野県でも事業の数も増え、格段に活動も充実していることを目の当たりにし、市民・県民から求められている団体であることを再認識する機会となりました。我々の地道な活動が認められ、実を結び花が開きつつあることは間違いありません。

今後も業界の次世代担い手団体として、永続的に様々な形で木材の普及活動を行なっていくことこそが我々の存在意義であり、満開の花を咲かせる確かな道であると思います。

来年度も、イレギュラーな形で私自身がなくならない限り(?)若い英知と情熱を結集し不屈の精神をもって行動することをお誓い申し上げると共に、お世話になりました会員の皆様に心から感謝申し上げます、一年間の報告といたします。

ありがとうございました。

## 松本材青会 PR事業 事業報告

**【事業名】** 親子木工教室(松本農林業祭り)  
**【日時】** 平成30年9月8日(土) 9:00～15:00  
**【場所】** 松本市 あがたの森公園  
**【参加者数】** (来場者数)約150人  
**【内容・題材】** 椅子づくり体験 50セット  
県産材による椅子作り  
※会団員は、参加者の作り方説明とサポート



**【事業名】** 親子木工教室(ものづくりフェア長野2018)  
**【日時】** 平成30年10月27日(土) 9:00～17:00  
**【場所】** 松本市 職業訓練校体育館  
**【参加者数】** (来場者数)約250人  
**【内容・題材】** 椅子づくり体験 100セット  
県産材による椅子作り  
※会団員は、参加者への作り方説明とサポート



**【事業名】** 木工教室(松本市波田商工会のものづくりフェスタ)  
**【日時】** 平成30年11月3日(土)  
**【場所】** 松本市 波田体育館前  
**【参加者数】** (来場者数)約150人  
**【内容・題材】** 県産材による椅子作り 50セット  
※会団員は、参加者の作り方説明とサポート



# 平成30年度 理事予定者会議 議事録

日時/4月14日(土) 場所/長野木材協同組合

**【出席者】**

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| ◎会 長                  | 瀧澤 一吉 |
| 直 前 会 長               | 田中 一興 |
| 監 事                   | 齋藤 篤  |
| 監 事                   | 寺西 勝  |
| ◎代行副会長                | 田中 博文 |
| ◎副 会 長                | 土倉 宜也 |
| ◎副 会 長                | 降幡 聡  |
| ◎北信木青連 会団長            | 山崎 泰雄 |
| ◎北信木青連 副会団長           | 宮澤 遙  |
| ◎東信木青連 会団長            | 田村 紘一 |
| ◎東信木青連 副会団長           | 土屋 善樹 |
| ◎松本材青会 会団長            | 佐原 弘一 |
| ◎松本材青会 副会団長           | 大藏 俊介 |
| ◎事務局 長                | 宮崎 淳貴 |
| 事務局次長                 | 峯村 亮  |
| 事務局主事                 | 山浦 豊弘 |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 委員長  | 松本 寿弘 |
| 日本木青連 出向 会団長          | 田中 俊章 |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長 | 瀧澤 一吉 |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長 | 土倉 宜也 |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長 | 寺西 勝  |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 委員   | 宮崎 淳貴 |
| 日本木青連 出向 木育推進委員会 副委員長 | 印出 晃  |
| オブザーバー                | 日野原和仁 |

出席者数11名 ◎印は理事

議長指名 会長より土倉副会長を指名

議事録作成指名 宮崎事務局長

定足数確認 理事11名中、出席7名 欠席4名 成立致します。

連絡報告事項  
<字句訂正>  
・会員動向報告の報告期間平成29年4月6日  
→平成30年4月24日に訂正

第1号議案 平成29年度 第4回定例理事会議事録(案)承認の件  
田中直前会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第2号議案 平成30年度 事業計画(案)承認の件  
瀧澤会長より上程

<字句訂正>  
・事業日程 第2回理事会平成30年7月17日 土曜日  
→平成30年7月14日 土曜日

・事業日程 第5回理事会 岩手  
→東京

・理事 木材活用委員会 田中俊章  
→常任理事 木材活用委員会 田中俊章

・木材活用委員会 副委員長 寺西勝  
→理事 木材活用委員会 副委員長 寺西勝

・木育推進委員会 副会長 印出晃  
→理事 木育推進委員会 副会長 印出晃

挙手にて採決 挙手多数 承認

第3号議案 平成30年度 事業予算(案)承認の件  
瀧澤会長より上程  
瀧澤会長より収支予算・会費明細・会団PR会費拠出額の説明

土倉副会長より特別会員 新井さんの会費はどうするのか、  
→東信ブロックメンバーにて確認  
瀧澤会長より補助授業収入増額の理由説明  
→木工コンクールにて外部要員の日当、活動費

挙手にて採決 挙手多数 承認

第4号議案 第59回県会中大会開催(案)承認の件  
瀧澤会長より上程  
詳細 4/28 松本 ホテルブエナビスタにて開催  
受付15:00～ 登録料1万円  
<字句訂正>  
・平成29年度 臨時理事会  
→平成30年 臨時理事会

挙手にて採決 挙手多数 承認

第5号議案 平成30年度第1回理事会開催(案)承認の件  
瀧澤会長より上程  
詳細 6/2 長野県林業センターにて開催予定。

挙手にて採決 挙手多数 承認

議事録作成人 平成30年度 事務局 長 宮崎 淳貴

# 平成29年度 臨時理事会 議事録

日時/4月28日(土) 場所/ホテルブエナビスタ

議事録作成指名 赤羽事務局長

議案

第1号議案 平成29年度 事業報告及び決算(案)承認の件

挙手にて採決 挙手多数 承認

第2号議案 長野県木材青壮年団体連合会会則追加(案)承認の件

挙手にて採決 挙手多数 承認

以上。

議事録作成人 平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀

# 平成30年度 臨時 理事予定者会議 議事録

日時/平成30年4月28日(土) 場所/松本 ブエナビスタ

**【出席者】**

|             |       |
|-------------|-------|
| ◎会 長        | 瀧澤 一吉 |
| 直 前 会 長     | 田中 一興 |
| 監 事         | 齋藤 篤  |
| 監 事         | 寺西 勝  |
| ◎代行副会長      | 田中 博文 |
| ◎副 会 長      | 土倉 宜也 |
| ◎副 会 長      | 降幡 聡  |
| ◎北信木青連 会団長  | 山崎 泰雄 |
| ◎北信木青連 副会団長 | 宮澤 遙  |
| ◎東信木青連 会団長  | 田村 紘一 |
| ◎東信木青連 副会団長 | 土屋 善樹 |
| ◎松本材青会 会団長  | 佐原 弘一 |
| ◎松本材青会 副会団長 | 大藏 俊介 |
| ◎事務局 長      | 宮崎 淳貴 |
| 事務局次長       | 峯村 亮  |

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| 事務局次長                 | 山浦 豊弘 |
| 事務局主事                 | 松本 寿弘 |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 委員長  | 田中 俊章 |
| 日本木青連 出向 会団長          | 澁澤 一吉 |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長 | 土倉 宜也 |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長 | 寺西 勝  |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 委員   | 宮崎 淳貴 |
| 日本木青連 出向 木育推進委員会 副委員長 | 印出 晃  |
| オブザーバー                | 日野原和仁 |

出席者数11名　◎印は理事

議長指名　会長より代行副会長を指名

議事録作成指名　宮崎事務局長

定足数確認　理事11名中、出席10名　欠席1名　成立致します。

連絡報告事項
<字句訂正> なし

第1号議案　平成30年度　出向者(案)承認の件  
渋沢会長より上程  
  
挙手にて採決　挙手多数　承認

第2号議案　平成30年度　事業予算(案)承認の件  
澁澤会長より上程  
  
挙手にて採決　挙手多数　承認

議事録作成人　平成30年度　事務局長　宮崎 淳貴

## 平成30年度 定時総会 議事録

**日時／平成30年4月28日(土)**　　　　　**場所／松本 ブエナビスタ**

出席者26名（総会員数35名中）　委任状9名

|        |       |
|--------|-------|
| 北信木青連  | 6名    |
| 東信木青連  | 7名    |
| 松本材青会  | 13名   |
| 事務局主事  | 松本 寿弘 |
| オブザーバー | 日野原和仁 |

司会進行　H29年度事務局長 赤羽 洋紀

議長　第1号議案・第2号議案・第3号議案　澁澤 一吉  
第4号議案　土倉 宜也

資料字句訂正箇所 なし

第1号議案　平成29年度事業報告及び決算報告承認の件(案)  
  
田中会長　上程  
平成29年度事業報告 資料について報告される。  
寺西副会長　決算案について説明される。

中澤勝成監事　監査報告がされる。  
全員の挙手をもって承認される。

第2号議案　会則の一部改正について  
  
田中会長　上程　会則の一部改正について説明する。

第3号議案　平成30年度役員承認の件(案)

田中会長　上程　平成30年度役員を説明する。

拍手による採決　賛成多数　承認

役員席交代  
  
議長交代

平成30年度　澁澤会長より挨拶  
  
第4号議案　平成30年度事業計画及び予算承認の件(案)

澁澤会長　上程  
平成30年度　会長指針を読み上げる  
平成30年度　事業計画・事業日程・出向者・組織図・予算を説明する。

全員の挙手を持って承認される  
  
議事録作成人　平成29年度事務局長 赤羽 洋紀  
議事録作成人　平成30年度事務局長 宮崎 淳貴

## 平成30年度 第1回理事会議 議事録

**日時／6月2日(土)**　　　　　**場所／長野県林業センター**

**【出席者】**  
◎会　　長　　　　　　　　　澁澤 一吉  
直 前 会 長　　　　　　　田中 一興  
監　　事　　　　　　　　　齋藤 篤  
◎代行副会長　　　　　　　田中 博文  
◎副 会 長　　　　　　　　　土倉 宜也  
◎副 会 長　　　　　　　　　降幡 聡  
◎北信木青連 会団長　　　　　山崎 泰雄  
◎北信木青連 副会団長　　　　宮澤 遙  
◎東信木青連 会団長　　　　　田村 紘一  
東信木青連　　　　　　　　島田 直政  
◎東信木青連 副会団長　　　　土屋 善樹  
◎松本材青会 会団長　　　　　佐原 弘一  
◎松本材青会 副会団長　　　　大藏 俊介  
事務局次長　　　　　　　　峯村 亮  
事務局次長　　　　　　　　山浦 豊弘  
事務局主事　　　　　　　　松本 寿弘  
日本木青連 出向 木材活用委員会 委員長　田中 俊章  
日本木青連 出向 会団長　　　澁澤 一吉  
日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長　土倉 宜也  
オブザーバー　　　　　　　日野原和仁

出席者数18名　◎印は理事

議長指名　会長より田中代行副会長を指名

議事録作成指名　峯村事務局長

定足数確認　理事11名中、出席10名　欠席1名　成立致します。

字句訂正  
・17P補助授業 → 補助事業  
・渋澤会長 → 澁澤会長  
第1号議案　平成30年度理事予定者会議・平成29年度臨時理事会  
平成30年臨時理事予定者会議・定時総会議事録(案)承認の件  
澁澤会長より上程

挙手にて採決　挙手多数　承認

第2号議案　平成30年度PRカレンダー幹旋事業(案)承認の件  
田中代行副会長より上程

田中直前会長  
カレンダーは長野木青連を通して購入してほしい。

挙手にて採決　挙手多数　承認

第3号議案　平成30年度第41回児童生徒木工工作コンクール開催(案)  
承認の件  
降幡副会長より上程

澁澤会長より  
→ 木工教室はやるが表彰式は別日程にて開催

挙手にて採択　挙手多数　承認

第4号議案　役員選考委員会設置(案)承認の件  
澁澤会長より上程  
字句訂正  
→ 委員 寺西副会長 → 委員 降幡副会長

挙手にて採決　挙手多数　承認

第5号議案　第2回定例理事会開催日(案)承認の件  
澁澤会長より上程

挙手にて採決　挙手多数　承認

協議事項　交流会について・OB会について  
澁澤会長より  
→ 全OBに声掛けを行う  
田中直前会長より  
→ 会員拡大の動きとして、木曾、伊那方面等の団体がない地域でのメンバー加  
田中直前会長より  
→ 会員拡大の動きとして、木曾、伊那方面等の団体がない地域でのメンバー加入を促す交流会を行っていきたい。

協議事項　PRカレンダー以外の商品販売について  
澁澤会長より  
→ 現在使用している椅子キットのネット販売を行うのはどうか。

田中委員長より  
→ ネットへの出品は物の精度が必要。まずは山からとってきて椅子になるまでの過程をホームページで見せるのはどうか。

議事録作成人　平成30年度　事務局次長 峯村 亮

## 平成30年度 第2回理事会議 議事録

**日時／7月14日(土)**　　　　　**場所／長野木材協同組合**

**【出席者】**  
◎会　　長　　　　　　　　　澁澤 一吉  
監　　事　　　　　　　　　齋藤 篤  
監　　事　　　　　　　　　寺西 勝  
◎副 会 長　　　　　　　　　土倉 宜也  
◎副 会 長　　　　　　　　　降幡 聡  
◎北信木青連 会団長　　　　　山崎 泰雄  
◎北信木青連 副会団長　　　　宮澤 遙  
◎東信木青連 会団長　　　　　田村 紘一  
◎東信木青連 副会団長　　　　土屋 善樹  
◎松本材青会 副会団長　　　　大藏 俊介  
◎事 務 局 長　　　　　　　　宮崎 淳貴  
事務局次長　　　　　　　　峯村 亮

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| 事務局主事                 | 松本 寿弘 |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 委員長  | 田中 俊章 |
| 日本木青連 出向 会団長          | 澁澤 一吉 |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長 | 土倉 宜也 |
| オブザーバー                | 日野原和仁 |

出席者数15名　◎印は理事

議長指名　会長より土倉副会長を指名

議事録作成指名　峯村事務局次長

定足数確認　理事11名中、出席9名、欠席2名　成立致します。

字句訂正  
・P21木質カレンダー 15000円 → 1500円  
・P45H30年6月22日 → H31年6月22日

第1号議案　第1回定例理事会議事録(案)承認の件  
澁澤会長より上程

挙手にて採決　挙手多数　承認

第2号議案　第59回県会員中信大会　収支決算(案)承認の件  
寺西監事より上程

挙手にて採決　挙手多数　承認

第3号議案　平成29年度 木青連の森ラブグリーン事業報告書(案)承認の件  
寺西監事より上程

寺西監事より  
→ 木青連の森 看板を再利用で記念品を作るという話があるが保留  
山崎会団長より  
→ 前例のない事業をよくまとめてくれた。木質カレンダーは送っているか  
寺西監事より  
→ 発送済み  
田村会団長より  
→ とても素晴らしい、長野県らしい事業

挙手にて採択　挙手多数　承認

第4号議案　第41回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業計画(案)  
承認の件  
降幡副会長より上程

大藏副会団長より  
→ 12月8日表彰式は木青連だけのイベントか  
降幡副会長より  
→ はい  
大藏副会長より  
→ 表彰式の際、博物館は見れるのか  
日野原さんより  
→ 見れない事はない。表彰式は教室の一室を借りる。

挙手にて採決　挙手多数　承認

第5号議案　信州山の日2018木工教室(案)承認の件  
土倉副会長より上程

土倉副会長より  
→ コンサート中は椅子づくりの作業は行わないように  
→ 開催場所、飯山ICから50分程度かかる為、早めの出発をお願いしたい

松本さんより  
 → 雨天時は体験施設こもれびの中にて実施  
 → 駐車場は第2、3駐車場を利用するように  
 田村会会長より  
 → 椅子キット以外の材料は北信青連で用意をお願いしたい  
 土倉副会長より  
 → 了承しました  
 大藏副会会長より  
 → 15時コンサート開始がかぶっている時間は椅子作り行っても大丈夫か  
 松本さんより  
 → 時間的にかぶってもしょうがない

挙手にて採決 挙手多数 承認

第6号議案 体験と学びの環境博(信州環境フェア2018)木工教室(案)承認の件  
 土倉副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第7号議案 親睦事業計画(案)承認の件  
 澁澤会長より上程

土屋副会会長より  
 → 林務部の意見交換会が良いのでは  
 大藏副会会長より  
 → 案①が主旨、目的を考えると良いのでは  
 山崎会会長より  
 → OBのリストがない  
 松本さんより  
 → 案内を出すとしたら長野木協に案内を出す  
 宮澤副会会長より  
 → 林務部の意見交換会にOBを呼んだ方がよいのでは  
 松本さんより  
 → 林務部は人数が少ない為、大人数になると抵抗がある  
 若いメンバーと意見交換をしたいという意向もある  
 田中木材活用委員長より  
 → どの案もよいが案①と案②の合体案はどうか  
 澁澤会長より  
 → 案①と案②の合体案で検討していく  
 → セミナーもどんな内容が良いか希望をだして欲しい

挙手にて採決 挙手多数 承認

第8号議案 第3回定例理事会開催日(案)承認の件  
 澁澤会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第9号議案 北信越協議会(案)承認の件  
 澁澤会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

協議事項 なし

議事録作成人 平成30年度 事務局次長 峯村 亮

## 平成30年度 第3回理事会議 議事録

日時／12月8日(土) 場所／長野木材協同組合

### 【出席者】

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| ◎会 長                  | 澁澤 一吉 |
| 直 前 会 長               | 田中 一興 |
| 監 事                   | 齋藤 篤  |
| 監 事                   | 寺西 勝  |
| ◎副 会 長                | 土倉 宜也 |
| ◎副 会 長                | 降幡 聡  |
| ◎北信木青連 副会会長           | 宮澤 遙  |
| ◎東信木青連 会会長            | 田村 紘一 |
| ◎松本材青会 副会会長           | 大藏 俊介 |
| 事務局次長                 | 峯村 亮  |
| 事務局主事                 | 松本 寿弘 |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 委員長  | 田中 俊章 |
| 日本木青連 出向 会会長          | 澁澤 一吉 |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長 | 土倉 宜也 |
| オブザーバー                | 日野原和仁 |

出席者数13名 ◎印は理事

議長指名 会長より降幡副会長を指名

議事録作成指名 峯村事務局次長

定足数確認 理事11名中、出席6名、欠席5名 成立致します。

字句訂正  
 ・P9～17 2011カレンダー集計表 → 2018カレンダー集計表  
 ・P2 会議・事業経過報告に第2回理事会追記

第1号議案 第2回定例理事会議事録(案)承認の件  
 澁澤会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第2号議案 信州山の日2018【木工教室】収支決算(案)承認の件  
 土倉副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第3号議案 体験と学びの環境博(信州環境フェア2018)【木工教室】(案)承認の件  
 土倉副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第4号議案 長野市立博物館まつり【木工教室】(案)承認の件  
 土倉副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第5号議案 第3回信州バザール2018【木工教室】収支決算(案)承認の件  
 土倉副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第6号議案 平成30年度 第4回定例理事会開催(案)承認の件  
 澁澤会長より上程

澁澤会長より  
 →北信越地区協議会2月23日の予定

挙手にて採決 挙手多数 承認

### 協議事項

・次年度役員選考について  
 澁澤会長より  
 → 北信越地区協議会の人選について

大藏副会会長より  
 → 松本材青会 会会長 大藏さん、副会会長 百瀬さんが就任。

議事録作成人 平成30年度 事務局次長 峯村 亮

## 平成30年度 第4回定例理事会 議事録

日時／2月16日(土) 場所／長野林業センター

### 【出席者】

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| ◎会 長                  | 澁澤 一吉     |
| 直 前 会 長               | 田中 一興     |
| 監 事                   | 齋藤 篤      |
| 監 事                   | 寺西 勝      |
| ◎代行副会長                | 田中 博文     |
| ◎副 会 長                | 土倉 宜也     |
| ◎副 会 長                | 降幡 聡      |
| ◎北信木青連 会会長            | 山崎 泰雄     |
| ◎北信木青連 副会会長           | 宮澤 遙      |
| ◎東信木青連 会会長            | 田村 紘一(欠席) |
| ◎東信木青連 副会会長           | 土屋 善樹(欠席) |
| ◎松本材青会 会会長            | 佐原 弘一(欠席) |
| ◎松本材青会 副会会長           | 大藏 俊介     |
| ◎事務局長                 | 宮崎 淳貴(欠席) |
| 事務局次長                 | 峯村 亮(欠席)  |
| 事務局次長                 | 山浦 豊弘     |
| 事務局主事                 | 松本 寿弘     |
| 日本木青連 出向 木育推進委員会 副委員長 | 印出 晃      |
| 日本木青連 出向 木材活用委員会 委員長  | 田中 俊章(欠席) |
| オブザーバー                | 日野原和仁     |

出席者数14名 ◎印は理事

議事録作成指名 山浦事務局次長

定足数確認 理事11名中、出席7名 委任状3名 欠席3名 成立いたします。

第1号議案 平成30年度 第3回定例理事会議事録(案)承認の件  
 澁澤会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第2号議案 平成30年度 PRカレンダー斡旋事業決算報告(案)承認の件  
 田中代行副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第3号議案 平成30年度 41回児童生徒木工工作コンクール決算報告(案)承認の件  
 降幡副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

・締め切りを一ヶ月伸ばしたが応募者増えず  
 (松本材青会 大藏副会会長)  
 松本では応募数が年々減っている。他会団では、どのようなことをしているか？  
 北信木青連、東信木青連ともに特別な対応はしていない。  
 (松本事務局主事)  
 長野県独自で木工工作コンクールを行ってみたらどうか。

(日野原オブザーバー)  
 全国からの通知が来る前にポスターなどで早めに周知させたらどうか。

改めて検討

第4号議案 平成31年度 長野県木青連役員(案)承認の件  
 澁澤会長より上程  
 人事案件の為、拍手にて採決 拍手多数 承認

・長野県緑の基金 評議員について  
 (澁澤会長)  
 毎年長野市で行われる為、北信木青連から選出する。

第5号議案 平成31年度 理事予定者会議開催(案)承認の件  
 田中代行副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第6号議案 平成31年度 県会員長野大会開催(案)承認の件  
 澁澤会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

日程 5月11日開催から5月25日開催に変更。

議事録作成人 平成30年度 事務局次長 山浦 豊弘